

令和4年度第3回函館方面森警察署協議会議事概要

1 開催日時・場所

- ・ 令和4年12月5日（月）午後1時30分から午後3時10分までの間
- ・ 函館方面森警察署 会議室

2 出席者

(1) 協議会委員 6名（定員6名）

- ・ 会長 前本 幸政
- ・ 副会長 蛭沢 彰則
- ・ 委員 鈴木 耕一郎
- ・ 委員 川村 昌代
- ・ 委員 根本 あけみ
- ・ 委員 高橋 恵子

(2) 森警察署員 5名

- ・ 署長 上杉 光範
- ・ 副署長 板垣 孝謙
- ・ 地域交通課長 小本 達也
- ・ 警備課長 渡邊 一弘
- ・ 生活安全係長

3 協議会会長挨拶

4 警察署長挨拶

5 警察署長による警察活動の概況説明

署長から令和4年10月末の刑法犯認知・検挙状況、交通事故発生状況、警察相談受理状況等について説明があった。

6 協議事項

(1) 警備課長から、本協議会における協議事項である「災害対策」に関して、パワーポイントを使用して説明があった。

(2) 質疑応答等

○ 協議事項について

- ・ 委員 災害対策本部に災害現場の映像が送られてくる映像をみせてもらいましたが、この貴重な情報は役場や消防などには情報共有して貰えるもののでしょうか。
- ・ 警備課長 特に動画での現場の状況は重要と考えております。
警察と自治体では、それぞれ得られる情報も違ってきますので、それぞれ映像を提供して情報共有することになっております。
- ・ 委員 森町は駒ヶ岳があり海にも面しているため、噴火や津波の災害に見舞われる可能性をもった町ではありますが、今後の災害対策として警察の抱負のようなものをお聞かせ下さい。
- ・ 警備課長 お配りした、町で作成のハザードマップを見て貰えればお分かりいただけると思いますが、森町の場合では実は危険箇所というのは限られており、

安全な場所の方が圧倒的に広いので、これをしっかり理解して安全な場所に避難して貰えば、被災者自体はゼロに近づけることは出来ると考えております。

ハザードマップをいかに町民の皆様へ周知して危機感を伝えられるかが大切であると考えておりますので、今後とも講話や広報活動を積極的に行っていきたいと思っております。

- ・ 委員
私は以前阪神大震災を目の当たりにしてきた経験がありますが、そこから中物が落ちて散乱している状態で、割れ落ちたガラスの破片等で足を怪我している人もたくさんおりました。
それ以来、私は靴下を用意することにしましたし、高いところに物を置かないように気を付ける様になっています。
- ・ 委員
鹿部方向に向かう国道と別荘地を通り過ぎてから鹿部市街地に向かう道道との交差点ですが、信号も標識も無く、街灯も無いため普段でも見づらいことから、災害への備えとして標識だけでもいいので対策をとってもらいたいと思います。
- ・ 警備課長
普段であれば暗いと言っても遠くに町の明かりが見えたり、離れた場所であっても街灯があったりしますが、災害で停電になったらそれらの小さな明かりですら全て無くなります。
倒木で道が寸断されたり津波や川の氾濫で道が水没することも想定されますので、道路環境の整備などについても、警察のできる分野での対策を推進したいと考えております。
- ・ 委員
駒ヶ岳については噴火予測がしにくい山で、100年周期で大きな爆発があると予測されていると認識しており、噴火に伴って短時間のうちに10メートルを超える津波も発生すると聞いていますので、色々な場所や機会を利用して危険性などについて伝えていくことが大事だと思いました。
- ・ 警備課長
そこで町民の立場で、災害に対し一番大事なことは何でしょうか。
大噴火のたびに津波が発生するわけではなく、土石流が発生し、それが海に到達したときに津波を心配することになるかと思えます。
駒ヶ岳の過去の噴火の傾向として、小噴火が発生しその後、10時間くらい経って大噴火が起きるであろうと気象庁の専門家から教示を受けていますので、我々は小噴火が発生した場合、次に大噴火が起きると認識し、小噴火が起きた時点で早急に避難することを考えるべきだと思います。
- ・ 委員
職場では火災発生に備えた訓練を行っていますが、津波や噴火を想定した訓練はしていないので、何か対策していかなければならないと考えさせられました。
駒ヶ岳の噴火の周期も聞いたことはありますが、本当に噴火するのかと疑い、安心しきっている部分もあるので、日頃から危機感と防災意識を持ち、有事の際には落ち着いて行動できるようにしようと思えます。
- ・ 警備課長
提供して頂いた森町のハザードマップも大変見やすく良いものだと思います。
今回のような講話的なことでもなければ、送られてきても見ないかもしれないので、是非とも、職場の方々にも一度見てみるように声掛けしていただければと思います。
なお、避難訓練などの要望があれば出向いていきますし、講話などもさせていただきますのでよろしくお願い致します。
- ・ 委員
町内にいて思うことは、ハザードマップに記されている危険地域に住んでいる人と安全地域に住んでいる人の温度差があり過ぎるという点です。
相当の危機感を持つべきなのでしょうが、8月の防災の日に参加した町民は非常に少なく、それほど危機感がないと思えましたし、避難先がどこなのか答えられる人は果たして何人いるのかと心配になりました。
厚真町の災害では、自治体も国も対応が凄く早かったと聞いています。
危機感を持っていなければ、対応が全く変わってくると思いますので、

- ・ 警備課長 是非、周知するという対応に尽力して頂ければ幸いです。
私は、ハザードマップを持参して町内会単位で顔出しさせてもらっていますが、その際「最低限、自分の家からどこに避難すれば良いか」ということを知ってもらえれば良いとお伝えしています。
海岸沿いや高台など、町内会毎の特性に合わせた避難というものも大事かと思います。

- ・ 委 員 私は東日本大震災のとき、たまたま森管内のある漁港付近にいたのですが、港内の海水が2メートル程無くなっており、次には一気に海水が港内に流れ込んできて、あっという間に岸壁を越える海水が陸地の方にまで押し寄せ、トラックなども流されていく状況を目の当たりにしました。
その後、ニュースなどで東北の状況を見た際、もしかしたらあのとき私は津波に飲まれていたかもしれないと恐ろしくなり、それ以来、津波の恐ろしさを知ったので「とにかく逃げるんだ」ということを事あるたびに言って歩くようにしています。

- ・ 委 員 駒ヶ岳に関して、予測できない山だと分かっているのですが、どのエリアで噴火するのか大まかにでも分からないのでしょうか。

- ・ 警備課長 現在は、噴火口の道が鹿部寄りに向いているらしいといわれておりますが、大噴火のエネルギーはもの凄いはずなので、駒ヶ岳360度全体が危険性を秘めていると思っていただきたいと思います。

他県の例では、御嶽山の噴火の際、被害状況をスマートフォンで撮影しに行った人が多数亡くなっている事実もあり、火口を撮影するなどの行為は災害では最悪の事態を招くので、避難を最優先するという防災意識が大事になってきます。

(3) 署長からのことば

- ・ 災害関係では、大規模小規模問わず訓練を実施する様に指示しているところです。
また、災害の避難というものについての幼児教育も大事だと考えており、小さいときから災害に対する意識付けを図ることも必要ではないのかと指示しているところであります。
- ・ 次に、非常持出袋の普及ということを考えております。
避難時にはそれに向けた必需品があると思いますので、何らかの形で準備・普及させられないものかと考えているところです。
- ・ 次にドローンの活用です。
ドローンを使って正しい情報をどのように収集するかということが今後の課題となっていくと思います。

7 次回諮問事項

警察署の方から「交通事故抑止対策」についての提案を受け、委員間で協議した結果、次回の諮問事項は「交通事故抑止対策」に決定した。

8 次回開催予定

令和5年2月ころで調整していく予定。